

令和元年（2019年）9月6日（金曜日）

タイ・パヤオ大
研究チーム

「水のまち三島」を視察

「美しい川の維持」探る

桜川、源兵衛川など調査



三島市内の川の様子などを調査するパヤオ大研究チームのメンバーら
＝同市の桜川

源兵衛川などを歩いて回り、調査をした。プロジェクトリーダーの同大生物学部の新井教授（45）は「このような街の中で、住民が川と隣り合わせで暮らしているのに、なぜ美しい川が維持でき、観光にも生かすことができるのかを探り、研究で得たことをパヤオ湖で生かしたい」と語った。

「水のまち三島」の水資源管理に関する先進的な取り組みを学ぶ。5日、タイ北部のパヤオ大研究チームのメンバー10人が三島市を視察し、市内中心部を流れる源兵衛川や桜川などの現地調査も行った。

同チームは「パヤオ湖」の水資源管理に関するプロジェクトに取り組んでいる。今回の視察は、インターネットなどを使った調査で、三島市の取り組みに興味を持ったことか

ら、観光協会と連絡を取り実現した。視察では三島市が「水のまち」を観光スポット化させるまでに至った観光協会やNPO法人三島グランドワークなど関係団体の役割や市と周

辺コミュニティとの連携などを調査するのが目的という。

同日は市役所別館で、市の担当者、観光協会、同NPOなどから概要説明を開いた後、桜川、白滝公園、